

花は太陽を 子どもは平和を



ずしぼんじゅ



発行第250回 R5.7.10 広報委員会 小金原保育の会 幼児教室

くらみえん

小金原保育の会
幼児教室は

48

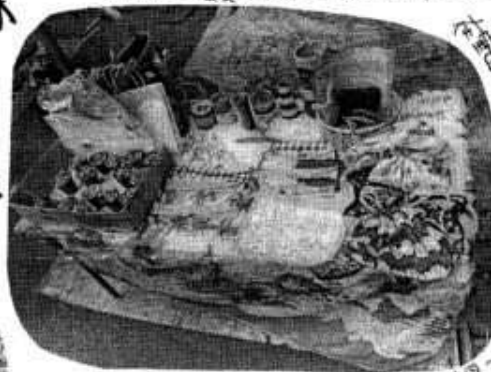
周年!!!

6月15日創立の日

イベントが行われました



「いす」を買ってもらったのよ!



お祝い、おめでとうの言葉が溢れていました。



OB 穂富さん夫妻の
おいしいコーヒー
お供えです。

「コーヒーは
話せば話せば
きく。」

「お母さん、お父さん、おめでとう!!」



「おめでとう」の言葉が溢れていました。



くらみえんで盛り立てている
コンパストの
ブース

OB 川口さんの
「お母さん農園」の
新鮮な野菜
お供え



お!!
「お母さん農園」
お供え

くらみえんの誕生日6月15日には、出店やお祝いには「お力
いたたきありがとうございます」でした。
たくさんのお祝いにお返しは、48周年を祝い交流あそびなどが
できました。再会を喜ぶ姿もあちらこちらで見られ、くらみえんの
ことを思い、続けてきた「さつぱりOBのちやの支えを改めて
感じています。
「子どもを真ん中に」この環境を守り繋いでいくには「皆で」
力を合わせていきたいと思っております。

役員会

そして2年後「小金原保育の会 幼児教室」は
50周年を迎えます☆
50周年実行委員会が立ちあがりました。
これから計画していくとのことです。
楽しみですわ☆☆☆☆

根本先生お話し会

学習委員

大雨の中、たくさんのご参加ありがとうございました。

誰かが想いを話すことによって、先生の経験の引き出しが開かれていく、そんな時間でした。また、根本先生のお話を聞くお母さん達の表情が、とても柔らかく安心した表情だった事が強く印象的でした。当日のお話の内容を一部紹介します。全部載せたいところ…泣く泣く抜粋！！

●くるみえんに通い始めた子ども達に対して●

どうして泣いてもいないから泣いてほしいって言う風に、恨み一まではないんですけど(笑)そういう風に思っ
て(根本先生は幼児期、集団生活の場にいませんでした。「あんまり泣くから連れて帰ってきちゃった」とお母さんに言われたそうです)
だから今、幼児教室に開いて長いんですけど、そういう(泣く)子どもたちが沢山いたし、そういう(子をかわいそうに思う)親たちがいっぱい
いましたけど、そこをやっぱり乗り越えてもらいたい。それは親のためじゃなくて子どものためにね、っていう思いがあるから、強くそう感じて
います。どうにかして(幼児教室に)いられるように。

●自分の子供をみる●

本を読んだり、人の話を聞いたり、専門家に言われると自分も迷うじゃない、色々。だから一番いいのはなるべくそういうのは聞かない、読
まない。そしてあなたがあなた自身の子どもを見る。それしかないのね。
(中略)ひとりひとり違うんだってことなの、私が言ったことをじゃあうちの子もそうしようって言う風になったのなら、それはちょっと違っ
て、その子はそういう子。まず自分の子はそういう子なのか、そして自分はどういう人なのか、お母さんは。

●嘘について●

必ず出てくる問題なんです。
嘘は、嘘と捉えるかそうでないと捉えるかで全然違ってくるし、なぜ幼児って嘘が好きなのか(笑)、そういうことで言うならば、大人
を就いているってことはすごくあります。大人の考えを聞こうとしているとかね。そういうのがすごくあって、困った時に[嘘も方便]
っていうのがあるでしょう。昔からね。いわゆる嘘が悪い、っていうんじゃないで、困っているときに嘘らしきこと、嘘らしき行動をと
るっていうのは、きっとなにか困っているんだなあと、思います。

○くるみえんでやっていることを家でめんどくさかったときにどうしたらいいの？

それはあなたが決める事よ(笑)、やらせたいの？幼児教室でやっているようなことを。
基本的に、幼児教室でやっていることを家でもやらせたいっていうのは間違っています。家庭は家庭、幼児教室は集団の場、家庭は各々のや
り方があっていかなと思うから、幼児教室でやるようにはやらなくていい。だから「あなたが」ってこと。あなたがこの家のサイクルとして、
リズムとして家族全員の中でどうやって気持ちよく過ごしているのか、そこを考えていく。
一緒に楽しんでいること、家庭の中でね、それぞれ違うし、やれることやれないことも、それぞれ違うから、一緒に楽しく過ごせるか、そ
こが、それでいいんですよって言われないと自信が持てない人たちが多く、そんなの誰も言ってくれない、自分で決めればいいの、と、私は思
うだけじゃないでしょうか(笑)。

●日常生活について●

根本先生の「親が子をどう育てたいか」が心に残りま
した。困り事は色々ある。でも、その場どおりに先がよ
くならないと思ってしまう事も多く、こころいう風にな
っていくと、いい思い出も、と意識していい風にな
りました。
先生の幼児教室の話を聞き、自分の子どもとの時や母の
様子をあまり憶えてないけど思い出して嬉しくなりました。
昔は嫌な部分ばかり思い出して嫌にならなりましたけど、
今考えたらおもしろい。自身をあれこれあんなに
今の自分がなりたいことを、言わなければ母に感謝です。
自分の子が大きくなると、言わなければ母に感謝です。
長くも悪くも何て言われるか常に考えます。かばり金銀

○おしらせ○

根本先生のお話会の記録ファイルを作成しました
二階にありますので、是非読んでください。

★ OBさんとのお話し会 ★

7月5日に4名のOBさんにご参加頂き、在室母とのお話し会を開きました。

ご参加頂いたOBさん

元井智恵さん 佐藤恵美さん

お話しありがとうございました。

五味田理奈さん 太田理奈さん

感想

うさぎ 宮前

今だからこそ笑える話や反省話、気付け話。涙と笑いの
あつという間の2時間。数々の言葉が胸にグサッと刺さり、
大きく動かされました!! 口には、子供の言葉に過敏にならず
受け流すことの大切さ。そして2時間には「私が片付けたい世界
は平和な世界 そんな世界を許せよ。ずいぶんこをばかりは気が
ない。いい子に育てようと思ってるが、ちゃんとしなくていいんだよ。」
母の役目は次に命を繋げることに子供に今生きてる時を楽ませ、
次の未来に送らせ送らせる、その繰り返なんだと、OBさんのお話を通
して学びました。根本先生のお話し会とOBさんとの話し会を通して、
自分の子を面白がり、自分自身のこと面白がりながら子育てをしていこう
と思ふ。

OBさんとの話し会で思ったのは、昔も今も
くるみえんは、常に子ども達に寄り添ってくれ
ているんだなということです。そして、いつで
も母達の悩みをまるっと受け止めてくれる
環の深さに改めて気付かされた、とても
染み入る会でした。 学習委員 板橋



一般社団法人 小金原保育の会

第2回定期総会が2023年6月26日(月)に開催されました。

Q. 一般社団法人って何?

くるみえんとどんな関係なの?

代表理事を務める津田若葉さんより『すくぼんじょ』へ御寄稿いただきました。

A. 松戸市の行政窓口より、くるみえんに対する支援、保護者の方への補助金を支給するにあたり、「社会的に認められる組織(法人格の取得)となつて欲しい。」との話があり、2021年6月に一般社団法人を立ち上げました。法人は「くるみえん」の表看板ということです。

一般社団法人小金原保育の会「すくぼんじょ」寄稿
代表理事 津田 若葉

「わたしたちは、くるみえんの皆さんとともに歩んでいきます」

わたしは一般社団法人小金原保育の会、代表理事の津田です。皆さんと同じように、子どもがくるみえんに通ってました。娘が「ちゅうりつぶぐみ」だった2015年、「第1回展望を考える会」に参加して以来、くるみえんに寄り添いながら活動を続けています。

2021年6月11日、無償化にともなう松戸市からの補助金の窓口として、くるみえんを支えるため、理事4名とともに一般社団法人を設立しました。現在は8名の理事と、くるみえんにとって何が最善かを日々、話し合っています。

わたしたち理事は、ただただ『くるみえんをずっと残したい』という一心で集まったボランティアメンバーです。設立から2年と、まだ芽吹いたばかりで頼りないところもありますが、一步一步前向きに取り組んでいます。くるみえんが変わらず、そこにあり続ける一。それがわたしたちの願いです。

くるみえんの今を知りたい、そして私たち法人の活動を知ってもらいたい、そんな思いから、くるみえんの皆さんとお話しする機会を作りたいと思っています。また年に2~3回開催している理事会は、和気あいあいとして笑いの絶えないトークルームです。ぜひ理事会にも遊びに来てください!



読者の皆様、広報委員の山岡です。

『すくぼんじょ』は今号で記念すべき250号となります。250って半端な記念じゃない?とお鬼いでしょうか、私(山岡)が初めて広報委員を務めたいわゆるデビュー作が、平成12年5月発行の第150号でした。おれから20数年、途中、編集にかかわることを中断した時期もありましたが、日々感じていること、届けたい思いを綴らせていただきました。「あれから100号」……



というわけで勝手にお祝いしています。今年度は長谷川(うさぎ)、石原(ひばり)そして私山岡の3名で活動しています。くるみえん説明会(5月開催)での体を張った勧誘も、気付けばむなしく3名のみまどすか! これからも皆様に楽しい紙面をお届けできるよう、気負いがたつたまま、がんばります!